

ソニーフィナンシャルHD 金融・経済見通し

ソニーフィナンシャルホールディングス
金融市場調査部

	(%)	2018年				2019年				2020年	2017年	2018年	2019年
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期			
経済見通し 米国	実質GDP	2.2	4.2	3.5	2.7	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.9	2.6
	コアPCEデフレーター	1.7	1.9	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	1.5	2.0	2.2
日本	実質GDP	-0.9	3.0	-0.6	1.4	1.2	1.3	2.4	-3.6	0.9	1.7	0.9	1.0
	コアCPI	0.9	0.7	0.7	0.9	0.9	0.8	0.9	1.0	0.9	0.5	0.8	0.9
ユーロ圏	実質GDP	1.6	1.5	1.6	1.7	1.8	1.8	1.8	1.7	1.6	2.6	2.1	1.7
	CPI	1.2	1.7	2.1	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.5	1.7	1.9
中国	実質GDP	6.8	6.7	6.5	6.3	6.2	6.2	6.1	6.1	6.0	6.9	6.6	6.2
	CPI	2.2	1.8	2.3	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	2.1	1.6	2.2	2.2

注: 実質GDPは、米国・日本・ユーロ圏は前期比年率、中国は前年比。物価は前年比

	(%)	2018年				2019年				2020年	2017年	2018年	2019年
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期			
金利見通し 米国	政策金利	1.50~1.75	1.75~2.00	2.00~2.25	2.25~2.50	2.25~2.50	2.50~2.75	2.75~3.00	3.00~3.25	3.00~3.25	1.25~1.50	2.25~2.50	3.00~3.25
	10年債利回り	2.74	2.86	3.06	3.15	3.15	3.20	3.20	3.25	3.30	2.40	3.15	3.25
日本	政策金利	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1
	10年債利回り	0.03	0.02	0.13	0.15	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.05	0.15	0.20
ユーロ圏	政策金利	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.20	0.00	0.00	0.20
	独10年債利回り	0.49	0.3	0.47	0.5	0.57	0.64	0.71	0.86	0.91	0.42	0.5	0.86
中国	政策金利	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35

注: 政策金利は、米国がFF金利、日本が政策金利残高への適用金利、ユーロ圏は資金供給オペ金利、中国は貸出基準金利。全て期末値

		2018年				2019年				2020年	2017年	2018年	2019年
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期			
為替見通し 米ドル	ドル円	106	109	112	115	115	116	117	118	118	113	115	118
	ユーロ	ユーロ円	131	129	131	131	131	135	138	142	143	136	131
ユーロ	ユーロドル	1.24	1.18	1.17	1.14	1.14	1.16	1.18	1.20	1.21	1.20	1.14	1.20
	ポンド	ポンド円	149	145	147	145	141	145	144	143	142	153	145
ポンド	ポンドドル	1.41	1.33	1.31	1.26	1.23	1.25	1.23	1.21	1.20	1.35	1.26	1.21
	豪ドル	豪ドル円	82	82	81	79	78	79	80	83	85	88	79
豪ドル	豪ドル米ドル	0.77	0.75	0.72	0.69	0.68	0.68	0.68	0.70	0.72	0.78	0.69	0.70

注: 全て期末値



尾河 眞樹 (おがわ まき)

執行役員 兼 金融市場調査部長 チーフアナリスト

ファースト・シカゴ銀行、JPモルガン証券などの為替ディーラーを経て、ソニー財務部にて為替リスクヘッジと市場調査に従事。その後シティバンク銀行(現SMBC信託銀行)で個人金融部門の投資調査企画部長として、金融市場の調査・分析、および個人投資家向け情報提供を担当。2016年8月より現職。テレビ東京「Newsモーニングサテライト」、日経CNBCなどにレギュラー出演し、金融市場の解説を行っている。著書に『為替がわかればビジネスが変わる(2014年日経BP社)』、『富裕層に学ぶ外貨投資術(2015年日経新聞出版社)』、『〈新版〉本当にわかる為替相場(2016年日本実業出版社)』などがある。



菅野 雅明 (かんの まさあき)

シニアフェロー チーフエコノミスト

1974年日本銀行に入行後、秘書室兼政策委員会調査役、ロンドン事務所次長、調査統計局経済統計課長・同参事などの役職を歴任。日本経済研究センター主任研究員(日本銀行より出向)を経て、1999年JPモルガン証券入社、チーフエコノミスト・経済調査部長・マネジングディレクターとして日本の金融経済分析・予測を担当。2017年4月より現職。総務省「統計審議会」委員、財務省「関税・外国為替等審議会」専門委員、内閣府「経済財政諮問会議グローバル化改革専門調査会、金融・資本市場ワーキンググループ」メンバー、内閣官房「公的・準公的資金の運用・リスク管理等の高度化等に関する有識者会議」メンバー、厚生労働省「年金積立金の管理運用に係る法人のガバナンスの在り方検討作業班」専門委員などを歴任。日本経済新聞「十字路」「経済教室」、日経QUICK「QUICKエコノミスト情報」、東洋経済「経済を見る眼」「論点」、NTT出版「危機の日本経済」など執筆多数。テレビ東京「Newsモーニングサテライト」レギュラーコメンテーター。1974年東京大学経済学部卒、1979年シカゴ大学大学院経済学修士号取得。



渡辺 浩志 (わたなべ ひろし)

金融市場調査部 シニアエコノミスト

1999年に大和総研に入社し、経済調査部にてエコノミストとしてのキャリアをスタート。2006年～2008年は内閣府政策統括官室(経済財政分析・総括担当)へ出向し、『経済財政白書』等の執筆を行う。2011年からはSMBC日興証券金融経済調査部および株式調査部にて機関投資家向けの経済分析・情報発信に従事。2017年1月より現職。内外のマクロ経済についての調査・分析業務を担当。ロジカルかつデータの裏付けを重視した分析を行っている。



石川 久美子 (いしかわ くみこ)


金融市場調査部 シニアアナリスト

商品先物専門紙での貴金属および外国為替担当の編集記者を経て、2009年4月に外為どっとコムに入社し、外為どっとコム総合研究所の立ち上げに参画。同年6月から研究員として、外国為替相場について調査・分析、レポートや書籍、ブログ、Twitterなどの執筆、セミナー講師、テレビやラジオなどのコメンテーターとして活動。2016年11月より現職。外国為替市場の調査・分析業務を担当。

本レポートについてのご注意

- 本レポートは、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社（以下「当社」といいます）が経済情勢、市況などの投資環境に関する情報をお伝えすることを目的としてお客様にご提供するものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、特定の金融商品の推奨や売買申し込み、投資の勧誘等を目的としたものではありません。
- 本レポートに掲載された内容は、本レポートの発行時点における投資環境やこれに関する当社の見解や予測を紹介するものであり、その内容は変更又は修正されることがありますが、当社がかかる変更等を行い又はその変更等の内容を報告する義務を負わないものといたします。本レポートに記載された情報は、公的に入手可能な情報ですが、当社がその正確性・信頼性・完全性・妥当性等を保証するものではありません。本レポート中のグラフ、数値等は将来の予測値を含むものであり、実際と異なる場合があります。
- 本レポート中のいかなる内容も、将来の投資環境の変動等を保証するものではなく、かつ、将来の運用成果等を約束するものでもありません。かかる投資環境や相場の変動は、お客様に損失を与える可能性もございます。
- 当社は、当社の子会社及び関連会社（以下、「グループ会社」といいます）に対しても本レポートに記載される内容を開示又は提供しており、かかるグループ会社が本レポートの内容を参考に投資決定を行う可能性もあれば、逆に、グループ会社が本レポートの内容と整合しないあるいは矛盾する投資決定を行う場合もあります。本レポートは、特定のお客様の財務状況、需要、投資目的を考慮して作成されているものではありません。また、本レポートはお客様に対して税務・会計・法令・投資上のアドバイスを提供する目的で作成されたものではありません。投資の選択や投資時期の決定は必ずお客様ご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。
- 当社及びグループ会社は、お客様が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したこと（お客様が第三者に利用させたこと及び依拠させたことを含みます）による結果のいかなるもの（直接的な損害のみならず、間接損害、特別損害、付随的損害及び懲罰的損害、逸失利益、機会損失、代替商品又は代替サービスの調達価格、のれん又は評判に対する損失、その他の無形の損失などを含みますが、これらに限られないものとします）についても一切責任を負わないと共に、本レポートを直接・間接的に受領するいかなる投資家その他の第三者に対しても法的責任を負うものではありません。
- 本レポートに含まれる情報は、本レポートの提供を受けられたお客様限りで日本国内においてご使用ください。
- 本レポートに関する著作権及び内容に関する一切の権利は、当社又は当社に対して使用を許諾した原権利者に帰属します。当社の事前の了承なく複製又は転送等を行わないようお願いします。
- 本レポートに関するお問い合わせは、お客様に本レポートを提供した当社グループ会社の担当までお願いいたします。

ソニーフィナンシャルグループ

 **ソニーフィナンシャルホールディングス** 東証第一部上場（銘柄コード8729）



- ソニーフィナンシャルホールディングスは、ソニー生命保険株式会社、ソニー損害保険株式会社、ソニー銀行株式会社の3社を中核とする金融持株会社で、東京証券取引所第一部に上場（銘柄コード8729）しています。
- 当社グループの各事業は、独自性のある事業モデルを構築し、合理的かつ利便性の高い商品・サービスを個人のお客さまに提供しています。
- 当社グループの基本情報、業績、グループ各社の事業内容などにつきましては、当社ホームページでご覧いただけます。
<https://www.sonyfh.co.jp>